

第五十二回通常総会・研修会を開催

香川県商工会青年部連合会

県商工会青年部連合会（会長渡邊一雅）の第五十二回通常総会並びに研修会が、四月二十八日、土庄町 フレトピアホールにて開催された。

総会に先だって行われた研修会では、全国商工会連合会組織運営課の登玉祥徳氏を講師に迎え、「青年部の現状と今後の展望」と題して講演いただいた。全国と香川の商工会青年部の現状や部員増強成功事例の紹介があり、部員増強はどの青年部も喫緊の課題であることから受講者は真剣に耳を傾けていた。

総会では、渡邊県青連会長、篠原県連会長の挨拶の後、川崎副会長を議長とし議案審議が行われた。上程された議案『平成二十九年事業報告書並びに収支決算書承認について』『平成三十年事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の承認について』はいずれも原案の通り承認可決された。

最後に来賓としてご臨席の浅野県商工労働部長、黒島県議会議員、谷久県議会議員、三枝土庄町長、松本小豆島町長から祝辞が述べられ閉会した。

総会後には交流懇親会が行われ、

ブロックの枠を超えた青年部員の交流が行われた。



挨拶を述べる渡邊会長

香川県共同募金会へ寄贈

県商工会女性部連合会は、五月二十九日、プルタブを回収し換金した一万円を、県共同募金会に贈った。プルタブの回収は、女性部員が地域貢献活動の一環として二〇一〇年から取り組んでおり、贈呈は今年で七回目となる。県共同募金会によると、募金は県内のまちづくりや福祉活動、災害時に活用されているとのことである。

第四十六回通常総会・主張発表大会を開催

香川県商工会女性部連合会

県商工会女性部連合会（会長矢野文子）の第四十六回通常総会並びに主張発表大会が、五月九日、パールガーデン高松において開催された。

主張発表大会では土庄町商工会女性部の河合真澄さんが、全国の女性部に共通する課題である部員減少をなんとか食い止めるために、どうやって女性部に入ってもらえるか、魅力のある事業とは何かを改めて検討し、取り組んできた既存事業と新たにチャレンジした事業について発表を行った。既存事業では、大商業まつりでのバザー事業、新規事業では、ゆかた・仮装コンテストを開催した模様について、ユーモアを交えながら語り、聴衆は聞き入っていた。審査員の山県専務理事・矢野女性連会長より、講評とエールが送られた。



挨拶を述べる矢野会長

総会では、来賓に石井県経営支援課長、和田日本政策金融公庫高松支店長、渡邊県青連会長、小比賀顧問を迎え、矢野会長・篠原県連会長の挨拶の後、二十九年事業報告並びに収支決算、三十年事業計画（案）並びに収支予算（案）、役員の補欠選任の承認についての審議を行い、各議案とも原案通り承認可決された。

なお、役員補欠選任により、以下の通り新役員選任及び役職変更を行った。

●新役員（敬称略）

- 副会長 寒川 福見（さぬき市）
- 〃 住野タヅ子（宇多津）
- 理事 * 原 悦子（東かがわ市）
- 〃 * 松原 弥生（三木町）
- 〃 * 一小路 宏美（高松市中央）
- 〃 * 松永 妙子（丸亀市飯饅）
- 監事 藤重 英子（綾川町）

*は新任



主張発表する河合さん